

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市病児保育室「カンガルーム」
所在地	四日市市中部8番17号
指定管理者	<p>名称 医療法人里仁会</p> <p>代表者 理事長 二宮 俊之</p> <p>住所 四日市市中部8番15号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども未来課</p> <p>TEL：059-354-8069</p> <p>E-mail：kodomomirai@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

病児保育室として、併設する医療機関との連携のもと、児童の体調の急変や職員配置についても柔軟に対応し、病気回復期等の児童の健康維持と、保護者の安心した就労を図るという目的を達成することができた。

法人は、ISO9001の品質マネジメントシステムを採用している。同システムの規定に基づき、事務・経理・安全管理に至るまで、明瞭かつ安全な管理運営体制となっており、随時マニュアルと実務との照合を行うことで、形骸化しないシステムづくりに努めている。毎年品質目標を掲げ、その目標に向けて具体的取組を設定することや、年間計画に基づき、月ごとに課題となるテーマの職員研修を行うことで、サービス向上や職員の技術向上にも力を入れている。年に2回行っている利用者アンケートからも、児童が安心して過ごすことができ、保護者からも高い信頼を得ていることが分かり、満足度の高い保育サービスを提供することができていると評価できる。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成30年度で指定管理期間が満了し、平成31年度からは委託契約に切り替えることとなるが、本質的なサービス内容は変わらないことから、引き続き、業務改善を進めていきたい。医療法人里仁会は、当該施設の職員からの報告書をもとに安全確保のための考察を行うリスクマネジメント委員会を毎月開催し、業務上で修正すべき課題が生じた場合には、是正・予防措置の検討を行っていく。さらに、法人の管理責任者による現地確認チェックを受けることにより、適正管理に努めていく。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

病児保育を行うことにより、保護者が安心して就労できるというメリットがあり、緊急を要する医療行為等にも迅速に対応できる児童福祉施設として重要な役割を果たしている。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

病気回復期等の子どもを保育する市内唯一の施設として、子どもが病気から回復し、早く通常の生活に戻るための専門的な保育・看護を行うことで、子育て家庭への支援において重要な役割を担っている。指定管理者である医療法人里仁会「二宮メディカルクリニック」とデータを共有する電子カルテが閲覧できる端末を導入し、医師が病児保育室に出向き診察を行うだけでなく、外来にいる医師が保育看護記録を閲覧できる体制を整えている。医療機関との連携を緊密に行っており、病児保育の質の向上に継続して取り組んでいる。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

職員は、看護師1名と保育士2名を配置している。病気流行期に利用児童が増加する際には、運営母体である医療法人（病院）からの支援のもと、事前登録制のオンコール保育士を加配することで、柔軟に対応している。また、法人指導のもと、月1回リスクマネジメント委員会を開催し、堅実かつ適正な運営に努めている。また、年間計画に基づき、月1～2回程度教育訓練・研修を行い、安全確保とサービスの向上に努めている。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

法人の事務長を中心に、担当職員により適正に運用されていた。また、利用における登録事務や収納金の処理などにも誤りはなく、正確かつ迅速に事務処理がなされていた。各種文書・記録類については、ISOの規定に基づき適正に整理・保存されていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

インターフォンとオートロック、緊急地震速報受信機による防犯・防災対策を行っている。危機管理に関しては法人がISO9000シリーズの認証も取得し、緊急事態発生時マニュアルを作成している。緊急時の対応については、二方向への避難経路の確保や消防隊の非常進入口としてのベランダの設置など、法人の管理担当職員の指導のもと、適正な維持管理に努めている。また、法人と連携し避難訓練・応急手当講習を実施し、危機管理意識の徹底と、災害時の対応強化に努めている。

社会性（環境等への配慮）

職員が各自で省エネを心がけ、不要電灯の消灯や、裏紙使用、不要な古封筒や画用紙を利用児童の工作に使用するなど工夫している。また、病児を預かる施設として、清潔な環境づくりに努めている。

事業収支

経済性

事業の支出は、保育士や看護師の人件費が主なものである。平成30年度は、長年勤務していた保育士1名が退職し、その分を新たに派遣会社から保育士を雇用したことから、賃金単価が減少し人件費が減少した。また管理費については、経費節減を行った上で、ほぼ計画どおりに執行したことにより、当事業の収支はプラス計上となった。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表等の内容を精査したところ、特に課題・問題等はなく、安定した経営が行われていると判断できる。

その他

障害者雇用に対する取り組み

当施設では障害者の雇用を行っていないが、法人としては身体障害者を中心に障害者雇用を行っており、雇用率は9.35%（前年度比+2.28ポイント）と法定雇用率を上回っている。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成30年度

施設名	四日市市病児保育室「カンガルーム」		所管課： こども未来課
所在地	四日市市中部8番17号		設置年月： 平成12年8月21日（開設）
設置目的	保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気回復期には至っていないが当面症状の急変のおそれがない、もしくは回復期にある児童を一時的に預かる施設として、四日市市病児保育室を設置する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市病児保育室設置条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	180.10㎡
		延床面積 (㎡)	225.60㎡
	医療法人 里仁会（病院名：二宮メディカルクリニック）の敷地の一部を借り受け、病院併設型の病児保育室として開設。鉄骨2階建てで、保育室のほか観察室、ホールを設置。		
事業概要	病気回復期には至っていないが当面症状の急変のおそれがない、もしくは回復期にあり、保育園などでの集団生活が困難な児童で、保護者の勤務等の事情により、家庭での育児が困難であると認められる場合に、あらかじめ二宮メディカルクリニックでの診察を受けて利用許可を得た児童を保育する施設として設立。		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	289日	274日	△15日
開館時間	8:45～17:30	8:45～17:30	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
延べ利用者数	1,100人	1,154人	54人
平均利用率	3.8人/日	4.2人/日	0.4人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
利用料金収入	765,000	550,249	△ 214,751
指定管理料	17,400,000	17,400,000	0
収入計	18,165,000	17,950,249	△ 214,751
人件費	16,800,000	15,187,530	△ 1,612,470
管理費	1,196,500	909,033	△ 287,467
消耗品費	340,000	269,632	△ 70,368
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
修繕料	100,000	91,000	△ 9,000
通信運搬費	1,500	1,148	△ 352
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	5,000	5,000	0
委託料	0	0	0
賃借料	0	0	0
その他	750,000	542,253	△ 207,747
事業費 (ソフト事業等)	0	0	0
一般管理費	0	0	0
支出計	17,996,500	16,096,563	△ 1,899,937
収 支	168,500	1,853,686	1,685,186

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	289日	274日	△15日	利用者がいない日もあったが、常に受け入れできる体制を整えていた。	適
開館時間	8:45~17:30	8:45~17:30	計画通り	計画通り実施された。	適
事業開催	病児保育事業	病児保育事業	計画通り	計画通り実施された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数 1,100人	1,154人	54人	概ね計画通りの実施であった。	適	
	事業参加者数 1,100人	1,154人	54人	概ね計画通りの実施であった。	適	
事業参加者実績	利用料0円層	140人	150人	10人	概ね計画通りの実施であった。	適
	利用料1000円層	25人	30人	5人		適
	利用料2000円層	935人	974人	39人		適
稼働率	平均	96.00%	94.80%	△1.20%	概ね計画通りの実施であった。	適
	平日	99.00%	98.76%	△0.24%	概ね計画通りの実施であった。	適
	土曜日	84.00%	74.46%	△9.54%	概ね計画通りの実施であった。	適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
利用料金収入	利用者昼食代	750,000	540,184	△209,816	おむつ代等	適
	雑収入	15,000	10,065	△4,935		適
指定管理料	17,400,000	17,400,000	0		適	
自主事業収入	—	0	0	0		—
	—	0	0	0		—
収入計	18,165,000	17,950,249	△214,751		適	
人件費	16,800,000	15,187,530	△1,612,470	■人件費：昨今の保育士不足により、加配要員としてきたオンコール保育士の確保が難しくなり、結果として加配保育士が不足し、配置できなかった日が発生したこともあるが、長年勤務していた保育士1名が退職し、その分を新たに派遣会社から保育士を雇用したことから、賃金単価が減少し、人件費が圧縮したことが主因である。 [通常勤務：看護師1名、保育士1名、臨時保育士1名及び常勤職員の休暇補充対応、利用者増に対応する加配職員を随時配置] ■消耗品費：保育の質の向上のため、加湿空気清浄器44千円とおもちゃ棚35千円やその他消耗品を購入したことが主な使途であった。 ■修繕料：非常用蓄電池取替43千円や施設点検料等の使途であった。 ■その他：昼食用食材の購入費、研修参加費、旅費等の支出である。	適	
管理費	1,196,500	909,033	△287,467		適	
消耗品費	340,000	269,632	△70,368		適	
燃料費	0	0	0		適	
印刷製本費	0	0	0		適	
光熱水費	0	0	0		適	
修繕料	100,000	91,000	△9,000		適	
通信運搬費	1,500	1,148	△352		適	
広告料	0	0	0		適	
手数料	0	0	0		適	
保険料	5,000	5,000	0		適	
委託料		0	0		適	
賃借料	0	0	0		適	
その他	750,000	542,253	△207,747		適	
事業費(ソフト事業等)	0	0	0	適		
一般管理費	0	0	0	適		
支出計	17,996,500	16,096,563	△1,899,937			
収支	168,500	1,853,686	1,685,186			

総合コメント

平成30年度は、病気の流行期が短期間に集中したこともあり、前年度の利用者1,405人と比較すると251人の減少となったが、稼働率が前年度と同水準であった。利用者数が最も多かった月は1月の127人であり、年間の利用者数の実績は計画値に対して、横ばいとなった。

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>開所日数：274日（前年度比：+1日） 延べ利用者数：1,154人（前年度比：△251人） 平均利用率：4.2人/日（前年度比：△0.9人） 稼働率：94.80%（前年度比：+0.34ポイント） 平成30年度は、病気の流行期が短期間に集中したこともあり、前年度の利用者1,405人と比較すると251人の減少となったが、稼働率は前年度と同水準であった。利用者数が最も多かった月は1月の127人であり、インフルエンザ流行期以外の利用者も比較的にかかったが、年間の利用者数の実績は計画値に対して、横ばいとなった。保育士の加配を行った日は33日（昨年度比：△41日）であるが、うち2人以上の加配を行った日は2日（昨年度比：△6日）であった。</p>	適
収入		<p>収入については、指定管理料のほか、昼食代負担金等であった。 利用者数は計画値通りであったが、収入額は計画値に比べ減少となった。</p>	適
事業収支		<p>■人件費：利用者数に応じて加配の保育士の配置に努めているものの、昨今の保育士不足により、加配要員としてきたオンコール保育士の確保が難しくなり、結果として加配保育士が不足し、配置できなかった日が発生したこともあるが、長年勤務していた保育士1名が退職し、その分を新たに派遣会社から保育士を雇用したことから、賃金単価が減少し人件費が圧縮したことが主因である。 [通常勤務：看護師1名、保育士1名、臨時保育士1名及び常勤職員の休暇補充対応、利用者増に対応する加配職員を随時配置] ■消耗品費：保育の質の向上のため、加湿空気清浄器44千円とおもちゃ棚35千円やその他消耗品を購入したことが主な用途であった。 ■修繕料：非常用蓄電池取替43千円や施設点検料等の用途であった。 ■その他：昼食用食材の購入費、研修参加費、旅費等の支出である。</p>	適

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書類確認	問題なし	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書類確認	問題なし	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	担当者との連絡	市担当者による定期定な訪問及び確認あり	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書類確認	問題なし	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書類確認	問題なし	適
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	—	緊急事態発生なし	—	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	実地確認	問題なし	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書類確認	問題なし	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	実地確認	問題なし	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書類確認	問題なし	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか			
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	実地確認	問題なし	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書類確認	問題なし	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	実地確認	問題なし	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書類確認	問題なし	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か			
	花壇管理	四季の植栽は適切か			
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	実地確認	問題なし	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	実地確認	問題なし	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか			
	システム管理	更新・変更は常になされているか			
		トラブルに対応したか			

総合コメント

全体管理は指定管理者である医療法人里仁会（病院名：二宮メディカルクリニック）が実施しており、緊急事態の対応を含め、施設や機器、設備の指定管理は法人との連携、または指導により適正に行われている。

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
「カンガルーム通信」の発行	病児保育室の活動状況や保健衛生に関するお知らせなどをチラシで紹介する 発行時期 年1回程度 発行部数 400部/回	カンガルームでの利用児童の様子や季節に合わせた保健指導などを掲載した「カンガルーム通信」を発行した。カンガルームのほか、各保育園や子育て支援センター、こども未来課窓口にも配置した。 年1回発行 400部/回	病気の症状別の適切な対応や、子育て中の保護者が悩みに感じやすい保育・看護のポイントを親しみやすく解説し、保護者にとって有益な情報発信を行った。また、カンガルーム内で利用児童が取り組んでいる内容の紹介にも努め、まだ利用したことのない保護者に対するPRにも力を入れている。	適

総合コメント

「カンガルーム通信」では、病児保育室で行っている保育内容を写真付きで紹介し、保育の様子をイメージしやすくすることで、これまで利用したことのない保護者に対するPRを行った。また、季節ごとの疾患や子育て中の保護者が悩みに感じやすい保育・看護のポイントを親しみやすく解説することで、病児保育室の存在意義を示すことができた。

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	実地確認	定期的に電話・訪問を行い情報共有を行っている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書類確認	適正に行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	実地確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	当該年度は工事なし	—
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書類確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書類確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適正に行われている	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書類確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書類確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	当該年度は工事なし	—
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか			
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか			
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか			
	修理	修繕工事は適切であったか			

総合コメント

病気回復期等の子どもを保育する施設であるため、陰圧方式により空調管理するなど、特に衛生面で配慮が行き届いた設備管理を行っている。備品の消毒・洗浄についても定期的に行っており、清潔な環境づくりに努めている。入口はオートロック式かつインターフォンで来訪者の確認をしてから入室を許可しており、防犯面においても細心の注意を払っている。平成30年度は防災非常照明用蓄電池取替を実施し、適正に執行された。

平成30年度 四日市市病児保育室「カンガルーム」 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	実地確認	スムーズかつ柔軟な対応をしている	適
		許可証は速やかに発行されたか	実地確認	即日利用可	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	—	行事は行っていない	—
		ホームページは見易いか	HP確認	適切に作成されている	適
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	実地確認	適切である	適
		利用者に対する指導は適切であったか	実地確認	適切である	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地確認	適切である	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	—	イベントなし	—	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	問題なし	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	問題なし	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	実地確認	適切である	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	実地確認	清潔であった	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地確認	問題なし	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	実地確認	適切である	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	支障なし	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか			
		草刈りや除草はされているか			
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地確認	施設内は整理整頓されている	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地確認	適切な対応がなされている	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	支障なし	適

総合コメント

当施設では、月に1～2回その時々で課題になっているテーマについて病院と合同で研修を行うなど、更なるサービス向上に努めている。また全国病児保育研究大会に職員が参加することで、他自治体の職員と勉強会を行うことで、職員の育成にも力を入れ、保育の質の担保に繋がっている。取得している「ISO9001」の規定で毎年2回の利用者アンケートを行っているが、その結果を見ると、利用者満足度はどの項目においても大変高い評価であった。利用者以外の保護者に対しても、保育園の協力を得てアンケートを行い、認知度や利用に至らない理由などを把握し、効果的なPR方法の検討を継続している。